

美容技術の習得中心から 美しく生きる力を育む大学へ

山野美容芸術短期大学

YAMANO COLLEGE OF AESTHETICS

建学の精神「美道」で 美しく生きる力を育む

ネイティブの英語教員を前に、学生たちは「華道」について英語で説明し始めた。山野美容芸術短期大学（以下、山野短大）の授業のひとつコマだ。笑い声上がる場面も多く、英語があふれる教室では、学生たちの笑顔と活気に包まれながら授業が進行していった。

副学長である木村康一教授は、「英語によるコミュニケーションは特に力を入れている分野のひとつ」だと、山野短大が目指す教育について語る。

「『美道』という美しく生きる力を学ぶ本学にとって、日本の伝承美を海外に向けて発信できる能力を身に付けることはとても大切なこ

とだと考えています。現在私たちは、2021年度に向けて大きな大学改革と教育改革に取り組んでいますが、それはこれからの社会のあり方を見据えて、どのような人材を育成していくかを再構築するのが目的です。国際教育はその大きな柱のひとつなのです」

日本の美容教育を 充実させてきた歴史と伝統

山野短大を設立し初代学長を務めたのは、日本美容界の草分けである山野愛子氏。山野氏は美容に携わる人々の技術と地位の向上を目指して1934年（昭和9年）に山野美容講習所を設立した。山野氏らの尽力もあって、美容師の資格は国家資格として整備され、養成は

厚生労働大臣指定の養成校が担う

ようになるなど、その技術も地位も大きく向上した。そして1992年には、さらなる教育の充実を目指して山野短大を設立。当時は美容師養成専門学校の教育課程がまだ1年制だった時代。山野短大が切り拓いた、2年制の教育課程で幅広い教養と美容の技術を身に付けるカリキュラムは、その後2年制へと移行した専門学校のエデュケーションモデルとして、多くの学校のお手本となっている。

ホスピタリティを考え 広めていく力を養う

山野短大が建学の精神として掲げているのは「美道」という考え方だ。美道五大原則として記されているのは外見の美にとどまらず内面的な

美しさを大切にするという精神だ。木村副学長が語る山野短大の大学改革の基本も、この「美道」のもとに構想されている。

「本学の設立当初は山野の伝統に則って『美容技術』の習得を重要



産学連携による企業とのコラボレーションも活発に行っている。国産オーガニックコスメを展開する企業などと提携し、市場調査や商品開発、販売などを行う課題解決型授業(PBL)に取り組んでいる

日本美容界の草分け、山野愛子氏が開学した山野美容芸術短期大学。美容技術の習得から始まった教育は、自分も、他者も美しく豊かにする「美道」のもとに、美しく生きる力を育む教育へと大学改革をスタートさせている。

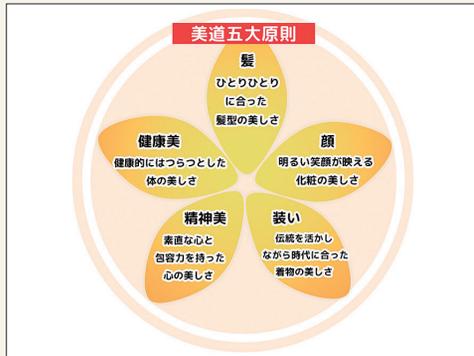
取材・文／今野雅晴

自身も相手も豊かな生活へと導く 「美しい生き方」ができる人を育てる



山野美容芸術短期大学
副学長
木村 康一 氏

文部科学省が発表している「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」にもあるように、今私たちは「予測不可能な時代の到来」を経験しています。そんな未来に「美道」はとて大きな役割を發揮します。自分の豊かな生活だけでなく、自分が関わった他者も豊かな生活を送ることに貢献すること。そんな「美しい生き方」ができる人になるために、自ら考え、決断し、行動して振り返ることができる人材を育てる教育を充実させていくことが、これからの山野短大が目指す姿です。



山野短大では英語でのコミュニケーション力を高めようという取り組みが始まっている。「海外の大学への編入・留学という選択肢を広げたいと考えています」(木村副学長)

視していました。その後社会が成熟し、専門学校の教育も充実していきなから、私たちは高等教育機関としての山野短大のあるべき姿を見直していきながら、これまででも少しずつ「技術の習得」から「考える力の育成」へと教育の方向を変えてきました。そして今、2021年度に向けた大きな大学改革にあたって決意を新たにしているのは、私たちの原点は「美道」にあるということ。なかでも「健康美」「精神美」という内面的な美を大切にする精神こそがその柱であるということです。山野短大が目指そうとしているのは、美を追求し、それらをどう社会貢献につなげるかを考えて、実践できる力を

Information

山野美容芸術短期大学



1992年に日本美容界の草分けである山野愛子氏によって美容、福祉に貢献する人材の育成を目指して開学。心身の美と健康は生活の基本であるという「美道」によるQOL (Quality of Life)の向上を目指している。美容の知識や技術習得に加えて、「美しく生きる」ための教養(美道)、ビジネススキル・語学・コミュニケーションスキルなどを学び、美容を通じて広く国際社会で活躍できる人材を育てている。

● DATA

〒192-0396 東京都八王子市鎌水530
TEL 042-677-0111 (入試・広報センター)
URL <https://www.yamano.ac.jp/>

美を中心とした新しい価値を生み出せる人材の育成

養うこと。専門的な技術を身に付けることはそのための手段のひとつです」と、木村副学長は語る。

山野短大の大学改革・教育改革は、まさに現在進行形で進められている。例えば、これまでもさまざまな企業とコラボレーションして進めてきた課題解決型授業(PBL)はより一層強化され、学生たちが自ら考え、工夫し、チャレンジできるスタイルの授業を大幅に増やしている。また、冒頭に紹介したような英語教育も、より実践的でアカデミックな

英語カリキュラムへと移行。さらに、卒業後の進路として大学への編入学にも力を入れるなど、学生の成長を促す取り組みは数多い。

「私たちの役割は在学期間中に教育を完成させることではありません。一人ひとりがその先の人生を生きていくうえで必要な考え方やベロースとなる能力を身に付けることが大切なことです。山野短大のコアである『美道』は、日本人が大切にしている美の根底にある心の美ということを理解し、伝えていくということです。混沌としている時代のなかで、美を中心とした新しい価値を見いだせる人を育てる。それが新しい山野短大の姿です」